

3学期始業式「式辞」

副校長 堀江 嘉明

行永分校の皆さん、明けましておめでとうございます。

いよいよ令和6年が始まりました。皆さんはどのようなお正月を過ごしましたか。また、どのような初夢を見ましたか。

1月1日、午後4時10分ごろ、能登半島で大きな地震がありました。私も家に居ましたが、最近では経験したことがない長い揺れを感じました。皆さんもびっくりしたことでしょう。

こちらはあまり大きな被害はありませんでしたが、この舞鶴にも津波が到着したと聞いています。

さて、年末年始は暖かさをも感じるような「暖冬」でしたが、昨日は本格的な冬の寒さとなりましたね。昨夜は布団に入ってもすぐ足が冷たく感じました。今朝の気温は0℃よりもさらに低い氷点下となり、道路上の水も凍てついていましたね。

しかし、今の行永分校のまわりの空を見てください。太陽の光がまぶしく感じるくらいに注がれています。今朝の寒さがうそのようですね。

日の出の直前こそが「夜」の中で一番暗く、そして寒いと実感します。また、「夜」が永遠に続くことはなく、やがて必ず、日の出とともに明るい「朝」が訪れます。

今、能登半島では地震の被害に遭われ、住んでいる家も失って暗い気持ちで、寒々とした避難所で過ごして、苦しんでおられる方が多くおられます。

私は今日の太陽の光のような光が注ぎ込む日が早く訪れるように心をこめて祈ることを、3学期の「式辞」の中に入れたいと思いました。

この3学期、小学部6年生の人は卒業式を迎えます。また、その他の皆さんもそれぞれの学年を終えます。学年の最後にふさわしい充実した3学期にしましょう。